

1 計画の目的

昭和40年代(1974)以前に建設し老朽化した県営住宅が全体の半数以上を占める中、現在管理している県営住宅(ストック)の効率的な利活用を図るとともに、住宅セーフティネットとして、真に住宅に困窮する者に的確に供給するため、今後の県営住宅の供給に関する基本方針と推進すべき施策を定める。

2 現行計画の内容

(1) 計画期間

平成25(2013)年度から平成34(2022)年度までの10年間
(5年終了時点(平成29(2017)年度)で必要に応じて見直す)

(2) 基本方針

基本方針1：既存ストックの長寿命化と適正な運営

長期的な維持管理の視点から、長寿命化に資する団地ごとの整備区分や整備手法を定めるとともに、県営住宅の効率的、効果的な運営を図る。

基本方針2：住宅セーフティネット機能の強化と持続可能な団地経営の構築

多様化する住宅困窮者への的確な支援や団地を含めた地域の良好なコミュニティ形成・活性化を促進することにより、高齢者等が健康で安心して住み続けられる環境を整備する。
また、コスト削減や収入確保による持続可能な団地経営を実現する。

3 計画の位置付け

県総合計画
かながわグランドデザイン

かながわ住宅計画(4計画)

神奈川県住生活基本計画

内容
住まい・まちづくりに関する総合的な計画
計画期間：平成28年度～平成37年度

地域住宅計画 神奈川県地域

内容
公的賃貸住宅等の整備等に関する目標、必要な事業、指標等を定めた計画
計画期間：平成29年度～平成33年度

神奈川県高齢者居住安定確保計画

内容
高齢者の居住の安定を確保するための施策を示した計画
計画期間：平成27年度～平成32年度

神奈川県県営住宅ストック総合活用計画

内容
県営住宅供給の基本的方針、整備事業など推進すべき施策を示した計画
計画期間：平成25年度～平成34年度

神奈川県県営団地再生計画